

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【公表番号】特表 2007-504786 (P2007-504786A)

【公表日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報 2007-008

【出願番号】特願 2006-533472 (P2006-533472)

【国際特許分類】

H 0 4 L 12/46 (2006.01)

H 0 4 Q 7/22 (2006.01)

H 0 4 Q 7/24 (2006.01)

H 0 4 Q 7/26 (2006.01)

H 0 4 Q 7/30 (2006.01)

H 0 4 Q 7/36 (2006.01)

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/46 1 0 0 R

H 0 4 Q 7/04 A

H 0 4 B 7/26 1 0 5 D

H 0 4 L 12/28 3 0 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 21 日 (2007.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

R F ポートがモバイルユニットとの通信用に提供されており、少なくとも一つのセルコントローラが有線ネットワークと前記 R F ポートとの間におけるデータ通信 packets を中継するために提供されており、前記セルコントローラが前記 R F ポートに関する関連付け及びローミング機能を実現するように構成されている無線データ通信システムにおいて、前記セルコントローラが更にレイヤ 3 ネットワーク制御機能を実現するように構成されていることを特徴とする、無線データ通信システム。

【請求項 2】

前記レイヤ 3 ネットワーク制御機能がフィルタリング及びスイッチング機能を備えていることを特徴とする、請求項 1 記載の無線データ通信システム。

【請求項 3】

前記セルコントローラがルーティング機能を実現するように構成されていることを特徴とする、請求項 1 記載の無線データ通信システム。

【請求項 4】

前記セルコントローラが Q o S 機能を実現するように構成されていることを特徴とする、請求項 1 記載の無線データ通信システム。

【請求項 5】

前記セルコントローラが packets 形成機能を実現するように構成されていることを特徴とする、請求項 1 記載の無線データ通信システム。

【請求項 6】

前記セルコントローラがアドレッシング機能を実現するように構成されていることを特徴とする、請求項 1 記載の無線データ通信システム。

【請求項 7】

少なくとも一つの R F ポート、複数のモバイルユニット及び前記 R F ポートに接続されたセルコントローラを有する無線ローカルエリアネットワークを機能させる方法であって、

モバイルユニットから受信した信号を前記セルコントローラに中継し、且つ、前記セルコントローラから受信した信号を前記モバイルユニットに中継するように、前記 R F ポートを機能させ、

前記 R F ポートと前記セルコントローラ間における関連付け信号の送受信を含む、前記モバイルユニットの前記 R F ポートに対する関連付けを制御するように、前記セルコントローラを機能させ、

前記 R F ポートを介して前記モバイルユニットに対する及び前記モバイルユニットからのメッセージの送信を実行するように、前記セルコントローラを機能させ、及び

ネットワーク制御機能を実現するように前記セルコントローラを機能させる、方法。

【請求項 8】

前記ネットワーク制御機能はレイヤ 3 ネットワーク制御機能である、請求項 7 の方法。

【請求項 9】

前記レイヤ 3 ネットワーク制御機能がルーティング機能である、請求項 8 の方法。

【請求項 10】

前記レイヤ 3 ネットワーク制御機能が Q o S 機能である、請求項 8 の方法。

【請求項 11】

前記レイヤ 3 ネットワーク制御機能がパケット形成機能である、請求項 8 の方法。

【請求項 12】

レイヤ 3 ネットワーク制御機能がフィルタリング機能である、請求項 8 の方法。

【請求項 13】

レイヤ 3 ネットワーク制御機能がアドレッシング機能である、請求項 8 の方法。